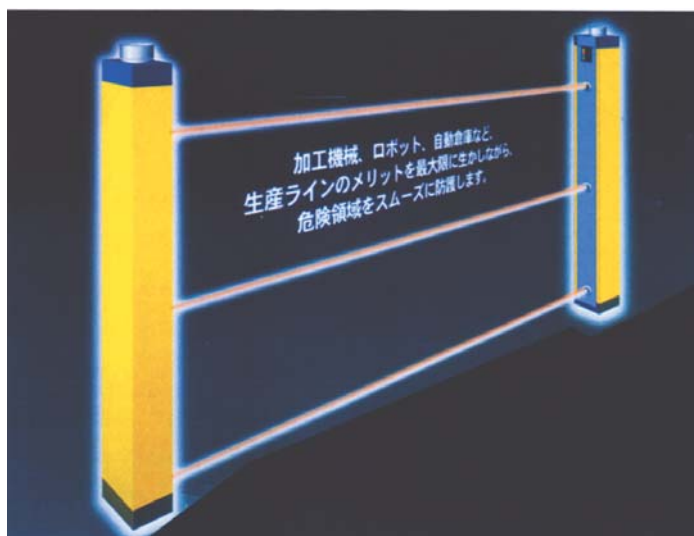
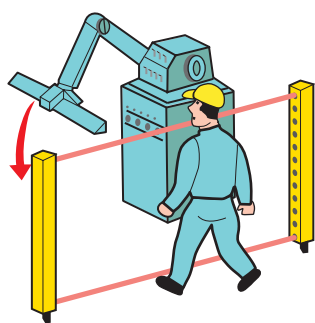
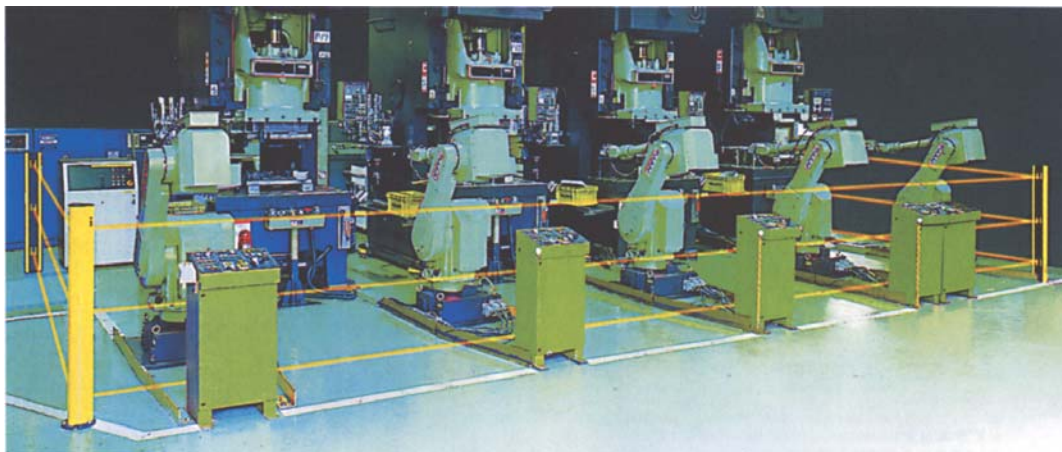


(6) 自動化されたラインで調整や点検などで危険領域に接近するリスク

現状 手送りのマニュアル作業ではなく、数台のプレスを自動化した場合には、材料の挿入・取り出し時には危険性が減少するが、非定常作業時の危険性がのこってしまう。

対策 このような場合には、侵入する身体の一部の状況に応じて、連続遮光幅の適正な光線式安全装置を設置する。



(7) 大型プレスのボルスター内部やムービングボルスターの移動に伴うリスク

現状 大型プレスの危険域防護については、手などの侵入時の危険性について、垂直位置に光線式安全装置を設置すれば法的には問題がないが、ボルスターが大きい為にこの領域の中に作業者の身体がそのまま入り込んでしまうことがある。また、金型交換時に使用するムービングボルスターの作動範囲に第三者が存在し、金型や材料などに挟まってしまうことがある。プレス機械が大きい為に、死亡災害につながることもある。

対策 ボルスターの内部を検知する為の、レーザーエリアセンサを設置し、内部の作業者を検知する。ムービングボルスターの移動領域にレーザーエリアセンサを設置する。